

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 3 - 8

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		役場庁舎別館増築工事業				
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名	管財係	
	管理職	職名	課長	作成者	主査	
		氏名	久保田和孝		氏名	澤田玲奈
事業の概要	役場庁舎は、昭和47年に建設され事務室が狭隘となり、保健福祉課が福祉センターに分散している為、庁舎を増築し、分散による窓口業務の不便さの解消及び集約化による利便性を図る。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 21 年度 ~ 22 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 331,684 千円 事業費計 331,684 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第5期総合計画(前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進				
	基本施策	24 効果的・効率的な行政経営				
	単位施策	3 地方分権型行政の推進				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	0 千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	千円	4,284 千円	318,925 千円	千円	千円
	合計	千円	4,284 千円	318,925 千円	千円	千円

743

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	役場庁舎	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	事務室の分散化による住民サービスの低下	役場庁舎別館増築			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	庁舎増築により分散施設の解消及び窓口を集約し住民サービスの向上を図る。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		実施設計	目標年度	平成21年度	
			目標値	1 件	
			実績値	1 件	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	分散施設が解消され窓口を集約することで町民の利便性を高め効果的な行政運営や住民サービスの向上を図ることができる。		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
実施設計委託業務契約	指名競争入札により業者を決定し、別館増築に係る実施設計業務を委託				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	事務室の分散による窓口業務の不便さ解消のため、集約化による利便性、また、不足している会議室の設置や高齢者・障害者などが利用しやすい施設づくりを行うために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	分散施設が解消され窓口を集約することで町民の利便性を高め効果的な行政運営や住民サービスの向上を図ることができるため有効である。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	窓口を集約することで効果的な行政運営や住民サービスの向上が図られ効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	広く町民が利用する施設であることから公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
実施設計に基づき、今後も計画通り事業を進めることが適当である。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
	<b>継続 / 拡充</b>		
実施設計に基づき計画通り事業を継続する必要がある。			

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--